

1. 夏の語い指導ワークショップ

今回で6回目を数える夏の語い指導ワークショップは例年にならい3日間行い、その中で部員が行ったリストの活用事例等を発表した。今年も計100人近い参加者を迎え、研修を深めることができた。

2. 今年度の研究の概要

今年度は、昨年度完成した「重要動詞におけるコロケーションリスト」を活用することが主眼となった。ワークシートやテストなどを実際に作成し、授業で活用した。また、そこで得られた成果と課題を部会で発表、検討を重ねた。

3. 語い指導（8）「研究部作成コロケーションリストを用いた教材研究と活用」

「検定教科書にあらわれる重要動詞のコロケーション調査」

(1) 平成19年度に作成した「重要動詞のコロケーション調査」の表を授業での実践やテスト、教材プリントの参考にし、取り入れた。

(2) 月1回の部会で、部員がそれぞれの実践を発表した。

例 ・リストを参考に目的語から動詞を選ばせるワークシート。

・動詞と目的語をマッチングさせる活動。

・目的語をかえるワークシート。

(3) それぞれの実践内容について、意見を出し合った。実践者は意見を参考に改善を図った。

(4) 実践発表を行う中で、考えていくべき事柄として、以下のことが挙がり、話し合いの時間を持った。

・ 指導案検討の時のように語い指導実践を徹底的に切る。

・ 辞書指導をどのようにやるか。どの語を引かせるか。

・ 単語テスト、スペリングコンテストは是か非か。

・ コロケーションの指導をもっと大事にする。（ろくに指導をしないで、評価やテストに比重が移らないように）

・ 1年生（または各学年の各段階）でつづりをどこまで求めるか。

(5) 結果の検証

改善した実践を授業に取り入れ、生徒にどのような力がついたのか、更に改善の必要はあるのか等検証していく。また（4）で話し合った内容も含め、授業へフィードバックしていく。